

8/1 第9回OB会総会開かる

第9回国鉄千葉OB会総会



日刊 勤労千葉

82.8.5

No. 1114

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆)品三三二七二〇七

悪天候をついて29名参加

「結成10周年記念・親睦旅行」などを決定
第9回国鉄千葉動力車OB会総会は、勤労千葉会館において8月1日、悪天候にもかかわらず、29名の方々が参加して盛大に開催されました。

政府・自民党は、資本主義体制の危機的状況をのりきるために軍事予算の大幅増額にみられるように戦争にむけ軍事大団化路線を強力に打ち出す反面、私達の生活に深くかかわる「年金」「医療」の諸制度を根底から覆すことをもくろみ「福祉切り捨て」のし烈な攻撃を続けてきています。とりわけ今日、国鉄をめぐる情勢は、政府自民党によるマヌコミを総動員した「反国鉄労者」キャンペーンを展開するとともに、7月30日の臨調基本答申発表をもって国鉄労働運動解体の攻撃を本格的に開始しました。これは私達の諸先輩が血と汗をかちとってきた職場既得権を剝奪するものであり、40万国鉄労者の総力決起でうち砕かねばなりません。

こうした意味からも、今総会はきりめて重要な総会であり、13時25分、南執行委員(総務部長)の司会により始められました。まず戸OB会々長より「皆さんとは年に二回しか会えませ

んが、元気な姿に接することができ、非常にうれしく、懐しく思います。私達OBは国鉄の職場に一生をささげ、国鉄の職場はふるさとです。そのふるさとが行革攻撃の中で踏みこじられようとしている状況にあります。『年金』『乗車証』の問題は労竹条件の一環であり、労竹者の権利を守りぬく為に現役組合員の方に頑張ってください」と同時に、OBも団結して闘いたい。との挨拶をうけました。続いて来賓として関川委員長より挨拶と国鉄をとりまく情勢についての話しがなされました。挨拶の最後に、政府・自民党のもくろむ軍事大団化183年総選挙圧勝1憲法改悪という反動攻勢の強まりの中で、私達の将来を決する83年選挙に「船橋市議」として社会党公認で立候補をされる中江昌夫勤労千葉顧問より力強い決意表明をうけ、議事に入りました。杉山事務長より、一九八一年度の一般経過報告・会計報告を受け、八助会計監査員より監査報告があり一括承認されました。一九八二年度活動方針は、林副会長より提起され、「組織拡大のため加入促進運動。現役組合員との交流を深めるため組合行事への参加。勤労千葉強化の為に支援基金活動の強化。高令者の生活を守る為の『千葉県高令者の生活を守る会』への積極参加。OB会結成10周年記念行事として親睦旅行を行う」等を決定し、14時20分成功裡のうちに終了しました。

この後、恒例の懇談会に移り、杯を交わしながら、全員つもる昔話・近況に花を咲かせ、16時30分、お互いの健康と健闘を約して、和気あいあいのうちに終了しました。



「国鉄の職場は自分たちが一生をささげてきたふるさとだ。現場を去ってもなお職場を想う気持ち強い。臨調攻撃への怒りも強い。」